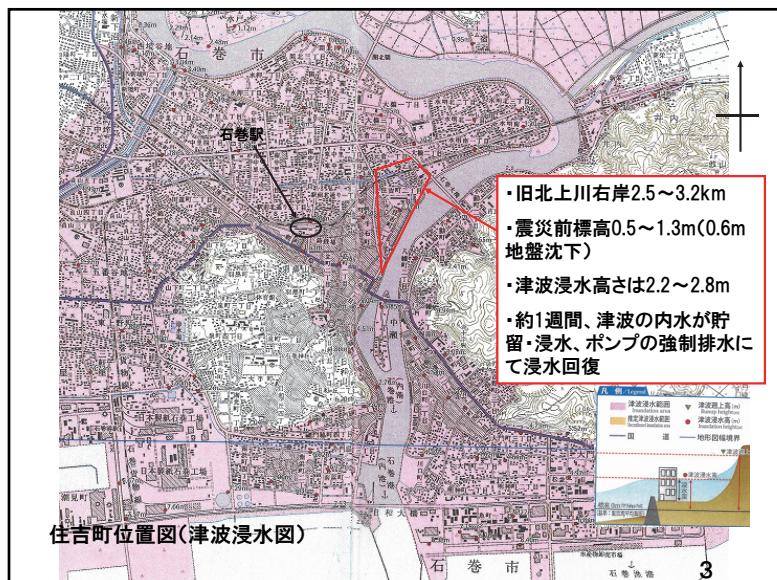


## 話題の構成

- 住吉町の位置と被災後の現況
- H24年度自主防災活動・被災後のアンケート結果  
(H24.11.30集約 H24. 3月取りまとめ)
- H24. 4.28アンケート結果報告及び意見交換会
- H24. 4.28の意見交換会アンケート結果について
- 町内へのアンケート結果の配布方法(31班へ回覧)
- アンケートのまとめと今後の課題

2

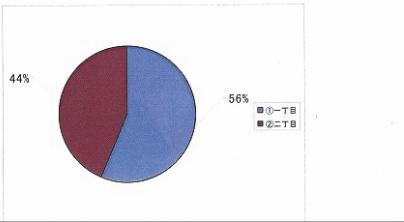


## H23.3.11東日本大震災に関するアンケート結果 (H24.11.30集約)

●アンケートでは河岸沿いの1丁目と、やや離れた2丁目で差異があるのかという観点から取りまとめた

1. 回収率 (H23年6月28日現在,全戸数279戸, 男:353名, 女:405名,合計758名)  
 ①. 一丁目 (87戸/128戸以下同じ=68%) ②. 二丁目 (67/151=44%) ③. 合計 (154/279=55%)

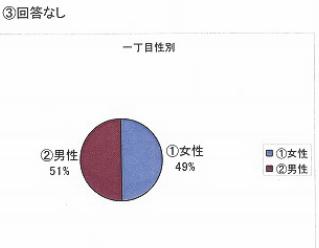
1. 回収率 戸	
①一丁目	87
②二丁目	67
合計	154



5

3. 記入した方の性別は、

①女性	②男性
1)一丁目	
①女性	43
②男性	44
合計	87



2)二丁目

①女性	②男性
2)二丁目	
①女性	32
②男性	35
合計	67



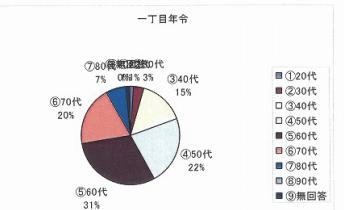
7

2. 記入した方の年齢は、

① 20~30才, ② 30~40才, ③ 40~50才, ④ 50~60才, ⑤ 60~70才, ⑥ 70~80才,  
 ⑦ 80~90才, ⑧ 90~100才, ⑨ 答案なし

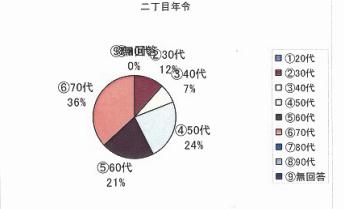
1) 一丁目

2年齢一丁目	
①20代	1
②30代	3
③40代	13
④50代	19
⑤60代	26
⑥70代	17
⑦80代	6
⑧90代	0
⑨無回答	1
合計	86



2)二丁目

2年齢二丁目	
①20代	0
②30代	8
③40代	5
④50代	16
⑤60代	14
⑥70代	25
⑦80代	0
⑧90代	0
⑨無回答	0
合計	68

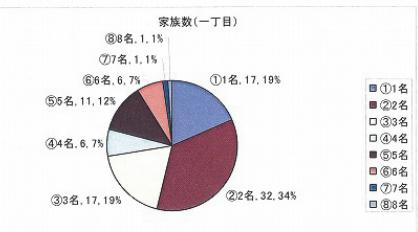


6

8. 家族数 (男 女 計 )

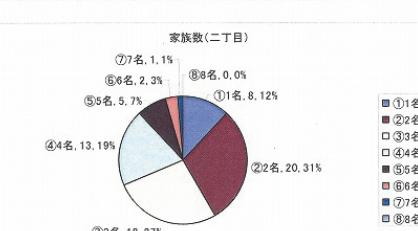
1) 一丁目 (全数)

①1名	17
②2名	32
③3名	17
④4名	6
⑤5名	11
⑥6名	6
⑦7名	1
⑧8名	1
合計	91



2) 二丁目(全数)

①1名	8
②2名	20
③3名	18
④4名	13
⑤5名	5
⑥6名	2
⑦7名	1
⑧8名	0
合計	67



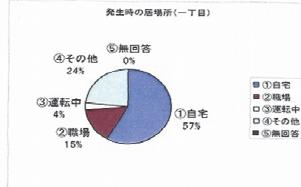
8

4. これからは、3.11 東日本大震災のことについてお聞きします。

#### 4.1 地震発生時どこにいましたか。

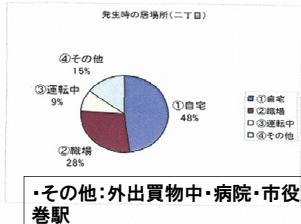
① 自宅、② 職場、③ 自動車運転中、④ その他( )、⑤ 回答なし  
1) 一丁目

①自宅	49
②職場	13
③運転中	3
④その他	20
⑤無回答	0
合計	85



2) 二丁目

①自宅	32
②職場	19
③運転中	6
④その他	10
合計	67



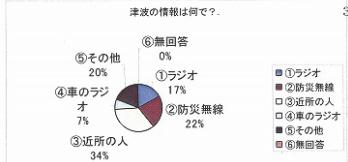
・その他：外出買物中・病院・市役所・配達中・石巻駅

9

4.2 津波の情報は何で知りましたか。

① ラジオ、② 防災無線、③ 近所の人、④ 自動車のラジオ、⑤ その他( )、⑥ 回答なし  
1) 一丁目

①ラジオ	15
②防災無線	19
③近所の人	30
④車のラジオ	6
⑤その他	17
⑥無回答	0
合計	87



・その他：地区防災の人、津波は常識、予感した、自己判断、家族、店の情報、警官、ワンセグテレビ、避難所、職場の人

全く知らなかつた(5名)

10

4.3 避難するときに持ったものはなんですか(複数回答可)。

① 非常袋、② ラジオ、③ 僵中電灯、④ 食料品、⑤ 飲料水、⑥ 現金、⑦ 位牌、⑧ 何も持ら出さず、⑨ その他( )、⑩ 回答なし

1) 一丁目

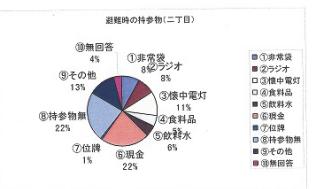
①非常袋	5
②ラジオ	10
③僕中電灯	11
④食料品	8
⑤飲料水	10
⑥現金	18
⑦位牌	2
⑧持参物無	32
⑨その他	17
⑩無回答	12
合計	125



・その他：カメラ、預金通帳、薬、カイロ、毛布、厚手のコート、保険証、衣類、ATMカード、携帯電話器、パック

2) 二丁目

①非常袋	9
②ラジオ	9
③僕中電灯	12
④食料品	5
⑤飲料水	6
⑥現金	24
⑦位牌	1
⑧持参物無	25
⑨その他	14
⑩無回答	4
合計	109



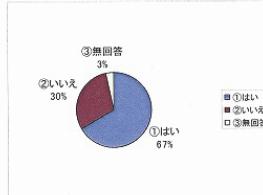
11

4.4 避難する場所は分かっていましたか。

① はい、② いいえ、③ 回答なし

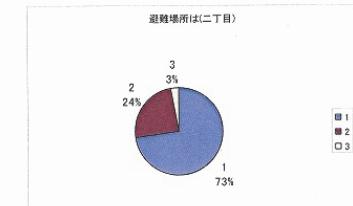
1) 一丁目

①はい	58
②いいえ	26
③無回答	3
合計	87



2) 二丁目

①はい	48
②いいえ	16
③無回答	2
合計	66

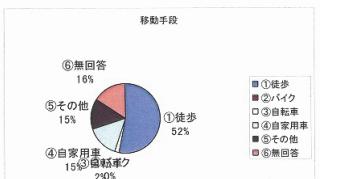


12

## 4.5 避難する場所への移動は。

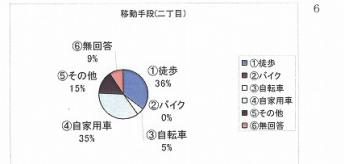
- ①徒歩、②バイク、③自転車、④自家用車、⑤その他( )、⑥回答なし  
1) 一丁目

①徒歩	47
②バイク	0
③自転車	2
④自家用車	13
⑤その他	13
⑥無回答	14
合計	89



## 2) 二丁目

①徒歩	23
②バイク	0
③自転車	3
④自家用車	23
⑤その他	10
⑥無回答	6
合計	65



## ④その他( )の回答

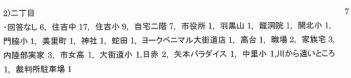
- 1) 他人の車 1、回答なし 14、水につかりながら 1、入院中 1、避難せず 4、自宅 3、近所の人  
の車 1、職場 1  
2) ポート 2、窓 4、回答なし 6

13

## 4.6 避難した場所を教えてください。

- 1) 一丁目(アンケート全回答)  
・回答なし 5、自宅 15、二室料 3、住吉中 5、公園の山 10、住吉小 17、ようしろう内科 5、  
市立病院 2、河北ビル 2、牧山 1、職場 1、市役所 1、日和山 3、山下小 1、ひまわり保育園 1、  
移務者 1、お寺 1、須江山 1、実家 3、石巻高校 1、大須小 1、鶴山 1、頬杖の家 1、友人宅 1

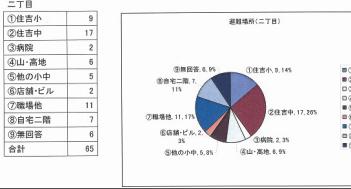
①住吉小	17
②住吉中	5
③病院	10
④山・高地	22
⑤他の小中学校	3
⑥幼稚・保育園	4
⑦職場・他	7
⑧自宅二階	15
⑨無回答	5
合計	88



7

- 2) 二丁目  
・回答なし 6、住吉中 17、住吉小 9、自宅二階 7、市役所 1、羽黒山 1、龍洞院 1、隣北小 1、  
門脇小 1、東里町 1、神社 1、駅田 1、三ヶ村ニマリ大街道店 1、高台 1、御幸 2、家賀宅 3、  
内部移入者 3、市高 1、大街道小 1、日赤 2、矢本バーディス 1、中里小 1、川から道いところ  
1、駄糞所駐車場 1

①住吉小	9
②住吉中	17
③病院	2
④山・高地	6
⑤他の小中	5
⑥幼稚・保育園	2
⑦職場・他	11
⑧自宅二階	7
⑨無回答	6
合計	65

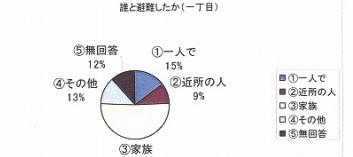


14

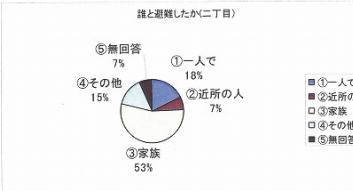
## 4.7 避難する時は誰と逃げましたか。

- ①一人で、②近所の人、③家族、その他( )、④回答なし  
(一丁目)

①一人で	13
②近所の人	8
③家族	44
④その他	11
⑤無回答	10
合計	86



①一人で	11
②近所の人	4
③家族	33
④その他	9
⑤無回答	4
合計	61



15

## 4.8 大津波が来ると思いましたか。

- ① はい、② いいえ、③ コメント

## 1) 一丁目

①はい	28
②いいえ	59
合計	87

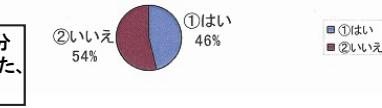
## 津波を予測したか(一丁目)

①はい  
②いいえ

## 2) 二丁目

①はい	31
②いいえ	36
合計	67

## 津波を予測したか(二丁目)

①はい  
②いいえ

・コメントの回答: 見当つかず、半分半分、自分の家まで来ないと思った、頭に浮かばなかった。

16

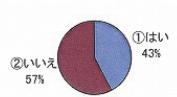
## 4.9 家族との連絡は取れましたか。

① はい、② いいえ、③ 回答なし3

1) 一丁目

①はい	37
②いいえ	50
合計	87

家族と連絡取れたか(一丁目)



9

2) 二丁目

①はい	31
②いいえ	33
③無回答	3
合計	67

家族と連絡が取れたか(二丁目)



17

## 4.10 日頃から家族で災害にあった時の話をしますか。

① はい、② いいえ、③ 回答なし

1) 一丁目

①はい	45
②いいえ	42
合計	87

災害の話(一丁目)



18

2) 二丁目

①はい	33
②いいえ	34
合計	67

災害の話(二丁目)



## 4.11 非常持ち出し袋を用意していますか。

① はい、② いいえ、③ 回答なし

1) 一丁目

①はい	33
②いいえ	54
合計	87

非常袋の準備(一丁目)



19

2) 二丁目

①はい	21
②いいえ	46
合計	67

非常袋の準備(二丁目)



## 5.町内の防災訓練に参加したことがありますか。

① はい、② いいえ、③ 回答なし

(一丁目)

①はい	29
②いいえ	58
合計	87

防災訓練参加(一丁目)

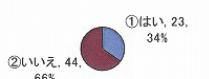


20

(二丁目)

①はい	23
②いいえ	44
合計	67

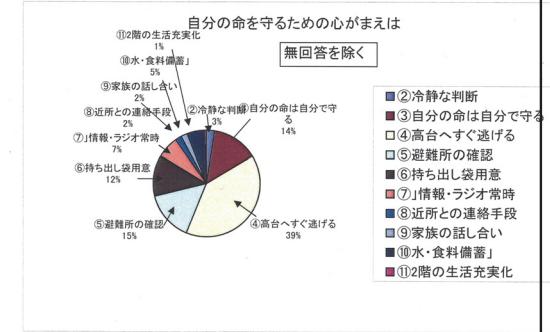
防災訓練参加(二丁目)



## 6. 今後自分の命を守るための心がけは

### 一、二丁目記述

①回答なし	35
②冷静な判断	4
③自分の命は自分で守る	21
④高台へすぐ逃げる	61
⑤避難所の確認	23
⑥持ち出し袋用意	19
⑦J情報・ラジオ常時	10
⑧近所との連絡手段	3
⑨家族の話し合い	3
⑩水・食料備蓄	8
⑪2階の生活充実化	1
合計	188

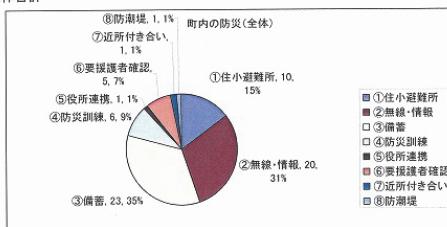


21

## 7. 町内の防災についてなにか要望がありますか (記述複数.キーワードをまとめた)

### 1) 無回答を除く一、二丁目の全体合計

①住小避難所	10
②無線・情報	20
③備蓄	23
④防災訓練	6
⑤役所連携	1
⑥要援護者確認	5
⑦近所付き合い	1
⑧防潮堤	1
合計	67



22

## アンケート結果のまとめ(1)

- ①回収率は全体で55%。記入した年齢構成は50～70代が多く、男女半々。
- ②地震時には、自宅あるいは職場(51～62%)により、買い物・通院中・外出先の順である。
- ③津波の情報は、近所の人から、防災無線、自宅ラジオ、車のラジオ、自主防災の人から。全く知らなかつた人がいた。
- ④避難時に持参物なしが最も多く現金、ラジオ、懐中電灯、飲料・食料品に順で非常袋の持参は、4～8%と少なかつた。避難場所をあらかじめ知っていたのは7割程度である。
- ⑤避難場所への移動は、徒歩、自家用車の順で、一丁目では徒歩が二丁目では自家用車が多い。大半は、自宅二階にいた。
- ⑥避難場所は、一丁目が近くの神社の山と住吉小に、平地の二丁目が地区から遠い住吉中へ避難した傾向にある。避難は、家族と一緒に多く、近所の人、一人での順である。 23

## アンケート結果のまとめ(2)

- ⑦津波が来ると思った人は、28～31%で7割が来るはずがないと思っていたことが判明した。震災時に家族と連絡が取れたのは半数以下。日頃から災害の話をしているのもほぼ半数。非常持ち出し袋を準備しているのは4割以下、防災訓練への参加は3割程度であった。
- ⑧今回体験して命を守るために、高台へ逃げる、避難所の確認、自分の命は自分で守る自覚、持出袋の用意、備蓄の順である。
- ⑨町内の防災会への要望は、備蓄、防災無線と情報の発信、住吉小を避難所に決める、役所との連携、防災訓練の実施、要援護者の安否確認の順である。

24

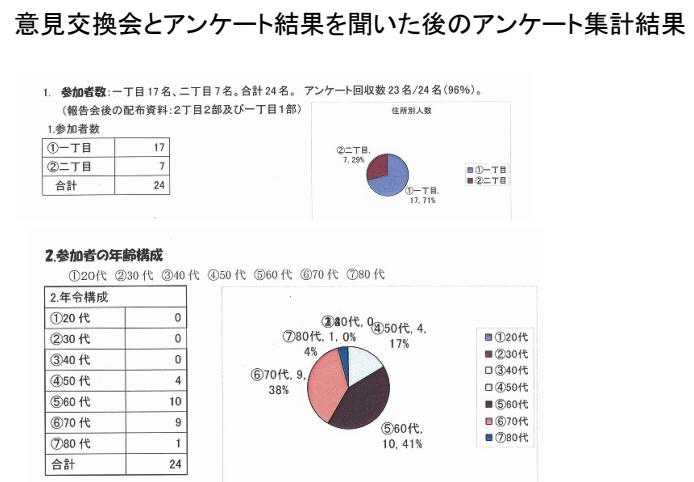


25

### H23. 11.30アンケート結果説明後の意見交換のまとめ

- 自主防災会長から初めに発言があり、H22.2のチリ地震津波の時に住吉小に対策本部を設置後、小学校を避難場所とすることは市長や教育委員会の了解を取つてある。避難場所の周知徹底が町内に周知されていなかった。
- 防災無線が、一丁目では風向き、地形で聞き取りにくい。広報の仕方や改善が必要。夜だったらもっと大変なことになっていた。よく透き通る声で切迫性のある「津波避難せよ」など簡潔するように市に掛け合つてほしい。
- 町内の防災組織の組織図はあるのか。あるが今回具体的に機能しなかつた。再作成して具体化すべき。若い人に入つてほしい。
- 今回の津波災害で、防災倉庫の新設と備蓄品は平地に置けないことがはっきりした。住吉所学校の3階の空き教室を使えないのか交渉する。
- 津波で逃げなかつた人が多い。これは、H22.2月のチリ地震と被災前のH23. 3. 9の前震の津波が大したもので勝手に「津波」は来ないと思い込んだ「正常化の偏見」が多くの方が犠牲になった要因である。「被害がどうなるのだろう」、「どこに逃げたらよいか」、「避難した後はどう対応するか」をイメージした「防災訓練を繰り返し行う」ことが必要。
- 「災害時は備えてやっておかないと、通常のこともできない」

26



27

### 3.性別構成 ①男性 ②女性

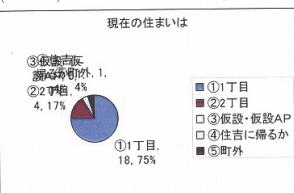
3.性別の割合(途中退出含む)

①男性	17
②女性	9
合計	26



4. 今のお住まいは  
 ①一丁目(二階含む)。②二丁目(二階含む)。③仮設・仮設扱いアパート。④⑤の方住吉に帰ることを考えていますか。⑤町外( )

お住まい	人数
①1丁目	18
②2丁目	4
③板塁・板塁AP	0
④50代	4
⑤60代	1
⑥70代	1
合計	24

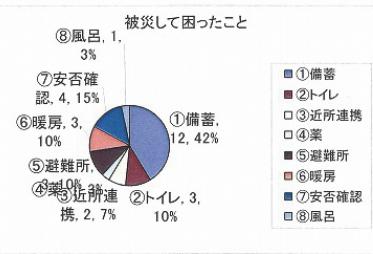


28

## 5. 被災して一番困ったことはなんですか

●原文のキーワードからの集計結果

被災を受け必要と思ったこと	
①備蓄	12
②トイレ	3
③近所連携	2
④薬	1
⑤避難所	3
⑥暖房	3
⑦安否確認	4
⑧風呂	1
合計	29

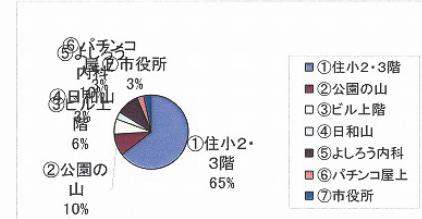


29

7. 住吉町は災害後、地盤沈下量が約 0.5~0.8mです。今後同じような津波が来た場合はどこを避難所として考えていますか。

・皆さんからの回答を集計(複数回答)

7.被災して今後の避難所は	
①住小2・3階	20
②公園の山	3
③ビル上階	2
④日和山	1
⑤よしう内科	3
⑥パチンコ屋上	1
⑦市役所	1
合計	31



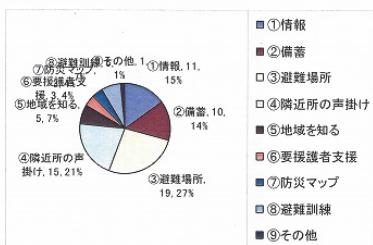
30

8.町内の防災を目指す活動で望まれることはなんでしょうか。(複数回答)

- ①情報 ②備蓄 ③避難場所 ④隣近所の声掛け ⑤地域を知ること ⑥要援護者支援 ⑦防災マップなど ⑧避難訓練 ⑨その他( )

●複数回答集計結果

8.町内の今後の防災活動は	
①情報	11
②備蓄	10
③避難場所	19
④隣近所の声掛け	15
⑤地域を知る	5
⑥要援護者支援	3
⑦防災マップ	3
⑧避難訓練	5
⑨その他	1
合計	72



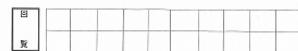
31

## アンケート結果のまとめ

- ・一丁目17名、二丁目7名合計24名参加。男17名女7名。  
年代は60-70-50代の順。アンケート回収率96%。
- ・自宅に住む人が殆ど、仮設の1名は将来町内に新築予定。
- ・困ったことは…備蓄、トイレ、避難所、安否確認、近所の連携薬、風呂の順。
- ・どこを避難所とするかでは、住吉小上階が65パーセント以上、住吉神社の山、病院、日和山、パチンコやの順。
- ・町内の防災活動については、避難所の整備と災害時の近所の声かけ、食料飲料水の確保、正しい情報の取得と速やかな発信、みんなが参加できる工夫された防災訓練と酔う援護者の支援があげられている。
- ・防災訓練の成果の確認、防災無線の改善、各家庭でも二階に備蓄など多くの提案があげられた。

32

## アンケート結果の配布方法(31班の回覧)



住吉町住民各位

平成23年6月24日 14時11分  
住吉町防災会議会場内アンケート結果報告会開催のご案内

平成23年6月24日㈯に、住吉町防災会議会場内アンケート結果報告会を開催いたします。このアンケートは、東日本大震災におけるアーバーと津波による被災地に対する支援についての意見をうながすために実施されました。アーバーと津波による被災地に対する支援の現状や今後の取り組みについて、住吉町内の方々にご意見をうながすために、下記通り開催日時と会場を用意いたしましたので、ご参考ください。

また、後日お問い合わせいただけますように、連絡手段を記載しておきます。

1.日 時 平成24年6月28日(土) 15:00~16:30

2.場 所 住吉町役場

3.内 容 〔平成24年6月28日〕に実施した町内アンケート結果報告会及び意見交換会

4.連絡申し込み先:「アンケート結果報告会用紙」に記載の郵便番号及び住所での郵便局へ郵便にてお問い合わせください。  
郵便番号:075-6864  
郵便局:新潟市中央郵便局  
郵便局:022-1088  
郵便局:022-2040

以上

主な防災アンケート報告及び意見交換会参加申し込み( 田)

お問い合わせの多いお問い合わせ(回答者ご登入願います)。参考の方は当日筆記用具ご持参ください。

班回覧

住吉町住民各位

平成24年5月吉日  
住吉町住民生活環境部会 岩野一也  
住吉町防災会議会場内 住吉町役場 93-0002「自主防災組織の創設・運営への取組状況について」  
「(223.1) 東日本大震災用防災アーバー及び避難所整備報告」

多くの組織、町内や皆様方に防災意識の醸成に貢献したことあります。

さて、住吉町では、平成24年5月11日の東日本大震災津波による深刻な被害で大きな影響を受けました。

そのため、平成24年5月11日に住吉町からご当地のアーバーと津波による被災地のアンケートを出し、その当時のことにについて平成24年5月6日金井伊能の5%にあふ多の方々からのご意見をいただきました。

その結果を基に、平成24年5月28日に、被災地のアーバーと津波の特徴と苦さを多くうながすために、防災意識の醸成や防災知識の普及などで、住吉町のさらなる活性化を図るために町内各所で活動をしてきました。

この結果がまとまりましたので、町内防災会場、資料の見開きにて掲載をすることになりました。

この結果を参考として、自然災害等被災した時に、ご自身や家族の命と財産(作物や家屋や車など)に、被災地の防災意識の醸成のための活動(アーバー)をもう一度振り返り、皆さんへも地域の自然のことをお教りし、それらの実践で自然災害に備えていたいことをお教示していただきました。一方へへの意見については、関係機関間で連携を強化していく方針を示しました。また、防災意識の醸成や防災訓練などとして講師による講義や実演、防災訓練などを実施する方針を示しました。

この結果を参考として、自然災害等被災した時に、ご自身や家族の命と財産(作物や家屋や車など)

ご意見ありがとうございました。

-----住吉町内の一部避難所は住吉小学校です-----

33

## 今後の防災組織の課題

- 今回の東日本大震災を受けて、「生きていくのに大切なものは何か?」「今どのように生きればいいのか?」「この体験を風化させずに次世代に伝えるには何を残すか?」を突然にも自然から突きつけられ、また、問いかけられた。
- 今後は河岸堤防建設への対応や町内の戸数・人の減少があるが、めげずにもう一度皆さんと力を合わせて備えを万全に。
- ①避難場所は、今回の被災を受けて住吉小が一時避難所に決まる。これに伴い、防災倉庫は、3階西端の空き教室を使用する。
- ②正確な情報の確保と伝達:家庭でラジオ装備、防災無線の広報の仕方と工夫、市から防災組織への情報伝達のシステム化。
- ③防災組織の再構築と皆さんが楽しく参加して訓練して体験し、みんなで学べるような、生かせる防災訓練工夫する。結果と成果はアンケートなどで検証。
- ④防災マップを再度作成し更地が広がる地域を知る。図上訓練を実施する。
- ⑤要援護者への支援には、防災マップを活用し安否確認・避難誘導・避難所への搬送など行動を伴った訓練を交えた支援を目指す。
- ⑥各家庭での防災意識の向上「自分の命は自分で守る」、備蓄など。
- ⑦地域を知った顔が見える隣近所の挨拶と声掛け。町内行事への参加。お互いを気遣う活動を継続する。

34

## 今後の予定について

- 石巻市総合防災訓練へ参加(石防対第59号参加協力依頼書)
- 日時・場所:平成24年7月8日(日) 午前7時から8時の間(時刻は事前通知しない)。その時に防災無線から地震発生・津波警報発表後にサイレンが鳴る。市内全域対象。
- スローガン 「とにかく にげっぺ！」
- 訓練概要(実施要領別紙)

### (1)市民

- ①初動確認;身の安全の確保、火元の確認
  - ②非常用持出品確認;非常食やラジオ、懐中電灯等非常持出品の確認
  - ③避難訓練;家庭からの安全な避難場所までの避難の実践(校庭まで)
  - ④訓練自己検証 避難経路の安全性や所要時間等の確認(チェックシートあり)
- ### (2)自主防災会
- ①避難訓練;指定避難場所又は高台などの安全な場所への避難の実践
  - ②安否確認;参加人数の把握
  - ③訓練の検証;別紙「自主防災会アンケート(意見集約)を基に訓練の検証」「地震・津波避難訓練」は、安全な場所まで非難を行った時点で終了。追加の訓練は各自主防災会で企画実施してください。

35

ご静聴ありがとうございました

36

